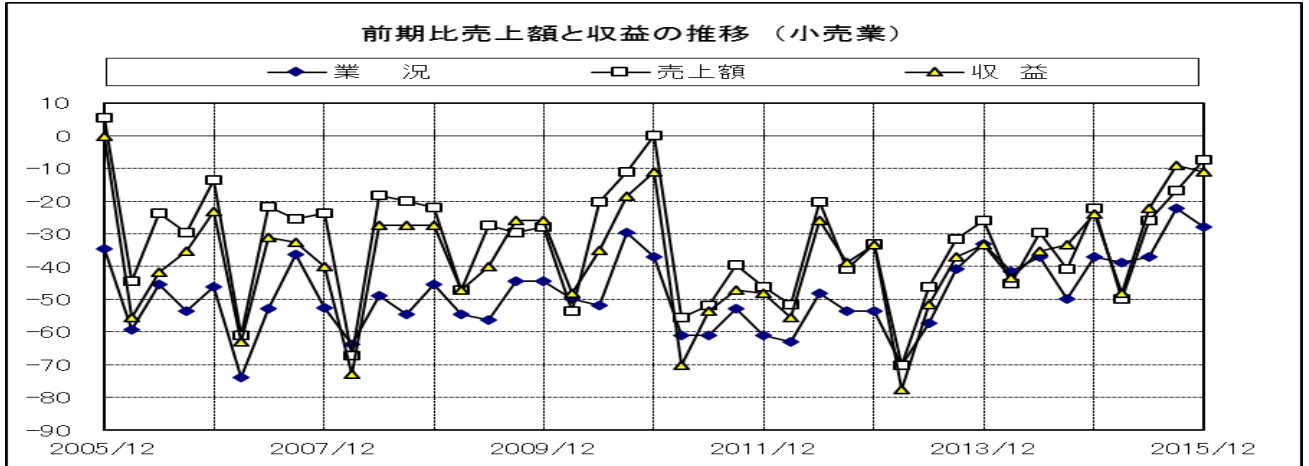


# 小売業 54企業（回答率 100%）の調査結果です

## □ 景況

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
業況	-37.0	-22.1	-27.8	-44.4
売上額	-25.9	-16.7	-7.4	-29.6
収益	-22.2	-9.2	-11.1	-22.2

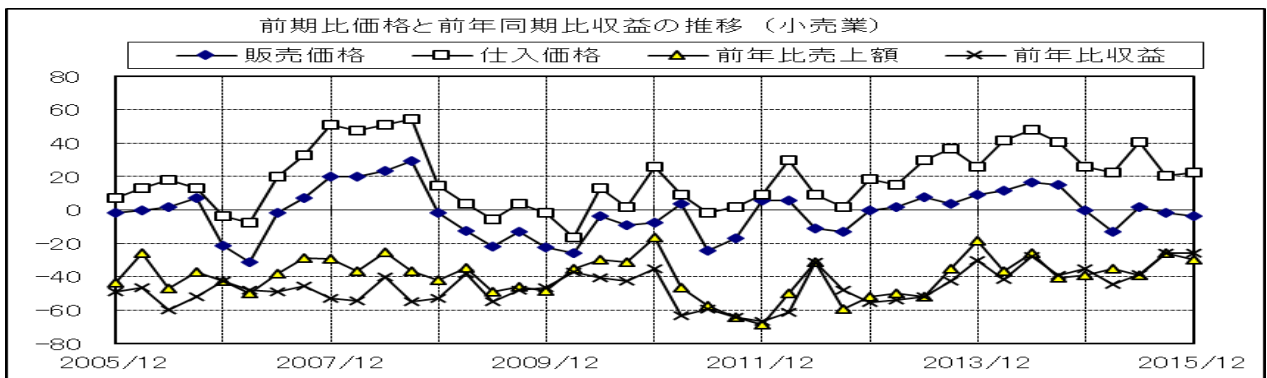
今期の業況判断 D. I. は $\Delta 27.8$  と、前期比 5.7 ポイント下降、悪化幅が拡大した。地区別の D. I. は高い順に、広尾・えりもが同値でトップ、次に様似・静内、三石、浦河と続いた。業況判断 D. I. は、前年 ( $\Delta 37.0$ ) 比 9.2 ポイント改善した。売上額判断 D. I. は $\Delta 7.4$  と、前期比 9.3 ポイント上昇。収益判断 D. I. は $\Delta 11.1$  と、前期比 1.9 ポイント下降した。



## □ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
販売価格	1.9	-1.9	-3.7	-3.7
仕入価格	40.7	20.4	22.2	24.0

販売価格判断 D. I. は $\Delta 3.7$  と前期比 1.8 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 22.2 と前期比 1.8 ポイント上昇した。販売価格は前年 (0.0) 比で 3.7 ポイント下降。仕入価格も前年 (25.9) 比 3.7 ポイント下降した。業種別では衣料品は販売価格、仕入価格ともに上昇。食料品は販売価格、仕入価格とともに上昇幅が縮小した。家電品は、販売価格が下降し、仕入価格は横這いとなった。



## □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
残業時間	-5.5	-5.5	-1.9	-7.4
人手状況	-13.0	-14.8	-11.1	-9.3

残業時間判断 D. I. は $\Delta 1.9$  と、前期比 3.6 ポイント上昇、残業時間が減少したとする企業割合は縮小した。

人手過不足判断 D. I. は $\Delta 11.1$  と、前期比 3.7 ポイント上昇し、人手不足感が僅かに改善された。

## □ 設備投資の動き

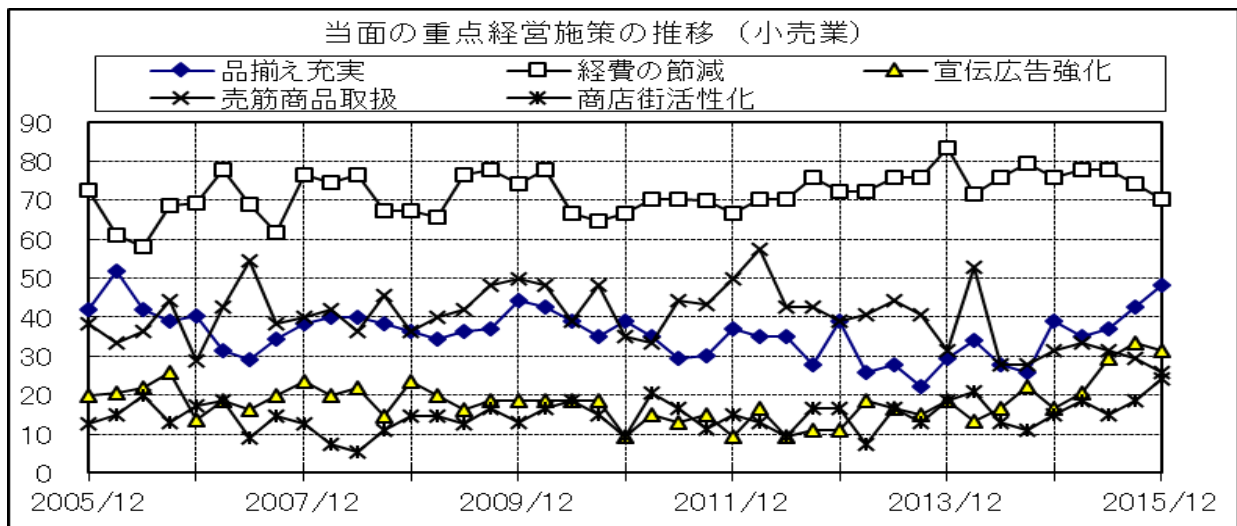
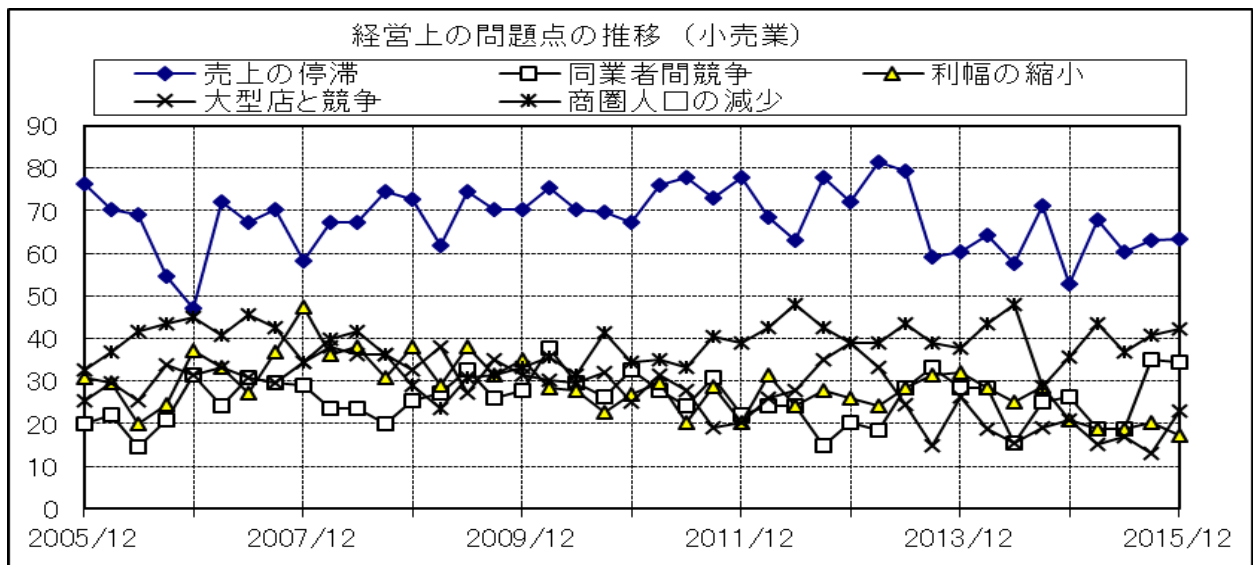
設備投資の充足感を示すD. I. は $\Delta 9.3$ と、前期比1.8ポイント改善した。

設備投資実施企業は前期の4社に対し0社の実施となった。来期の設備投資の予定は2社となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」をトップに挙げ63.5%、次に「商圏人口の減少」が42.3%、「同業者との競合」34.6%、「大型店との競合」23.1%、「利幅の縮小」・「値上げの要請」が17.3%で続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ70.4%、次に「品揃えを改善する」48.1%、「宣伝広告を強化」31.5%、「売れ筋商品取扱い」が25.9%と続いた。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は $\Delta 44.4$ と、今期比16.6ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は $\Delta 29.6$ と、今期比22.2ポイントの下降を見通している

予想収益判断D. I. は $\Delta 22.2$ と、今期比11.1ポイントの下降を見通している。

予想販売価格判断D. I. は $\Delta 3.7$ と、今期と同水準を見通している。

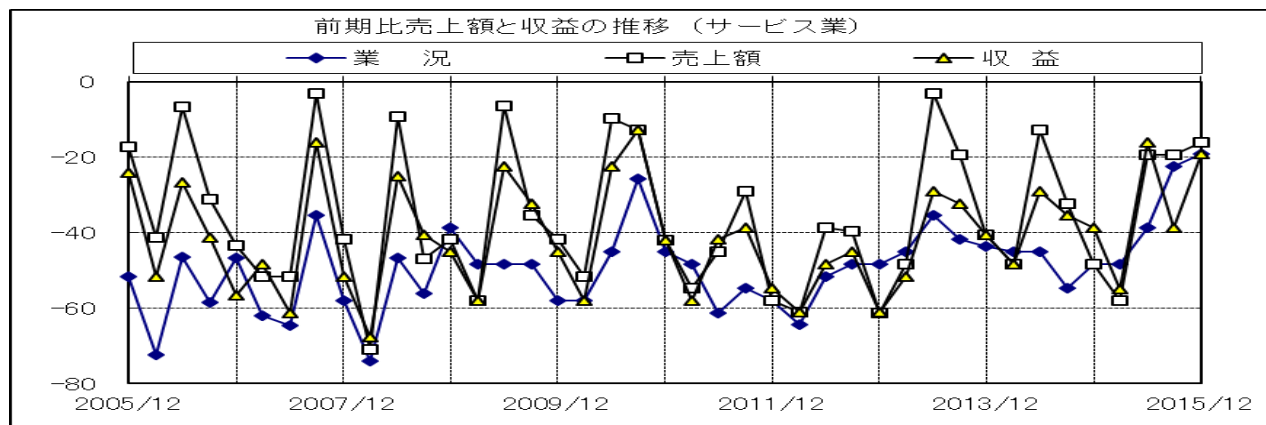
予想仕入価格判断D. I. は24.0と、今期比1.8ポイントの上昇を見通している。

## サービス業 31 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

### □ 概 況

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期見通し
業 況	-38.7	-22.6	-19.3	-38.8
売上額	-19.4	-19.4	-16.1	-48.4
収 益	-16.2	-38.8	-19.3	-41.9

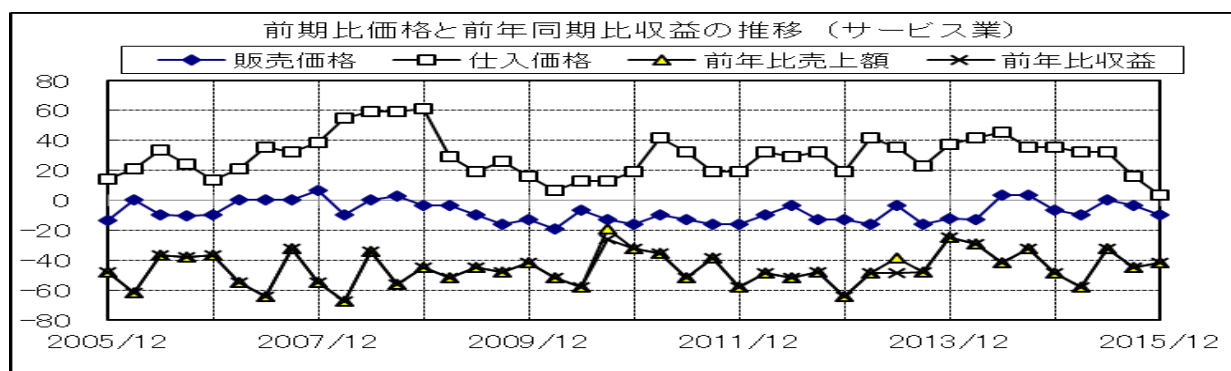
今期の業況判断 D. I. は△19.3 と、前期比 3.3 ポイント上昇し、改善した。地区別の D. I. は高い順に、浦河、三石、静内、様似・広尾が同水準で続き、えりもが最も低い水準となった。前年（△48.4）比では 29.1 ポイントの改善となった。売上額判断 D. I. △16.1 は前期比 3.3 ポイント上昇。収益判断 D. I. △19.3 も前期比 19.5 ポイント上昇した。



### □ 価格面の動きと前年同期に比した動き

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期見通し
料金価格	0.0	-3.2	-9.7	-16.1
材料価格	32.2	16.1	3.3	3.3

料金価格判断 D. I. は△9.7 と前期比 6.5 ポイント下降した。材料価格判断 D. I. は 3.3 と前期比 12.8 ポイント下降した。業種別にみると洗濯理容業・旅館業では、料金価格、材料価格ともに下降。一方、自動車整備業は、料金価格、材料価格ともに上昇となった。料金価格は前年（△6.5）比で 3.2 ポイント下降、材料価格は前年（35.5）比 32.3 ポイント大幅に下降した。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期見通し
残業時間	-9.7	-9.7	-9.7	-19.4
人手状況	-12.9	-6.4	-3.2	-12.9

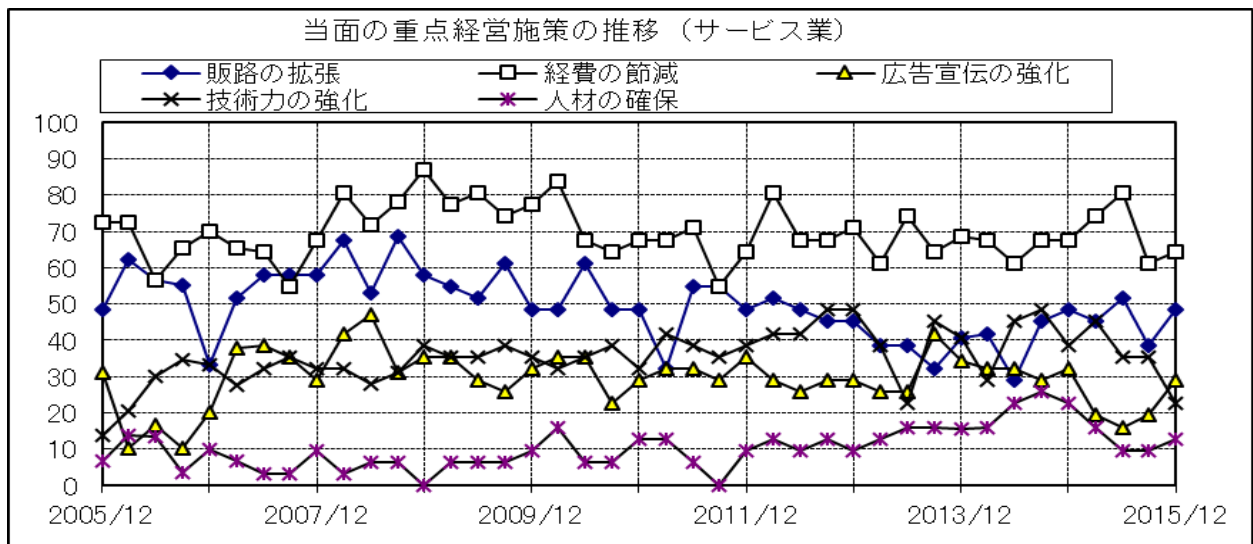
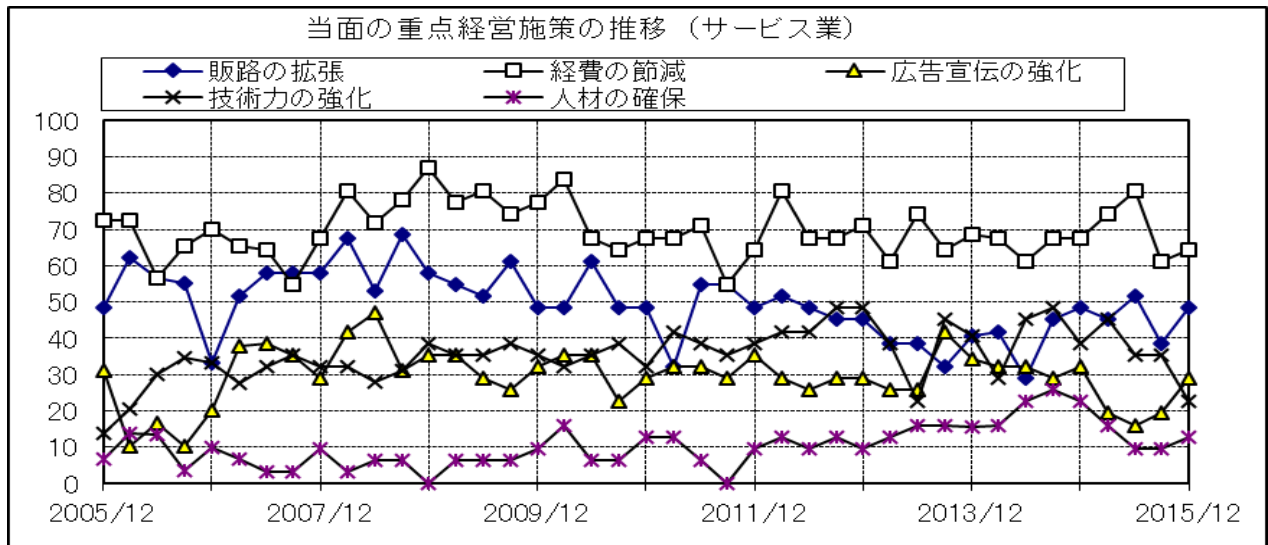
残業時間判断 D. I. は△9.7 と、3 期連続の横這い水準となった。人手過不足判断 D. I. は△3.2 と、前期比 3.2 ポイント上昇し、人手不足感は弱まった。

## □ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD. I. は $\Delta 9.6$ と、前期比9.8ポイント改善し不足感は弱まった。設備投資実施企業割合は19.4で前期比6.4ポイント下降。前期8社の実施に対し、6社の実施となった。来期の設備投資も、今期と同じく6社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「商圏人口の減少」48.4%をトップに、「売上の停滞減少」41.9%、「同業者との競合」32.3%、次いで「材料価格の上昇」19.4%、「店舗設備の老朽化」16.1%となっている。重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ64.5%、次いで「販路を広げる」48.4%、「宣伝広告の強化」29.0%、「技術力を強化する」が22.6%と続いている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は $\Delta 38.8$ と、今期比19.5ポイントの下降を見通している。予想売上額判断D. I. は $\Delta 48.4$ と、今期比32.3ポイントの下降を見通している。予想収益判断D. I. は $\Delta 41.9$ と、今期比22.6ポイントの下降を見通している。予想料金価格判断D. I. は $\Delta 16.1$ と、今期比6.4ポイントの下降を見通している。予想材料価格判断D. I. は3.3と、今期比横這いの水準を見通している。